

**令和3年度東京都手話通訳者等養成講習会**  
**受講生選考試験・一次試験 手話通訳士実践クラス 筆記問題**

**1 次の文で正しいものには○、誤ったものには×をつけてください。**

(1)	2011年の「東日本大震災」により、首相官邸記者会見に手話通訳が配置されました。
(2)	厚生労働省は職業安定局はハローワークにおける手話通訳サービス拡充のため昨年11月から東京、栃木、岐阜、沖縄で「遠隔手話通訳サービス」を始めました。
(3)	NHK（放送衛生による放送を除く）及び地上系民放（県地局を除く）については、2027年度までに平均15分/週以上に手話付与としました。
(4)	2021年秋、兵庫で第55回全国ろうあ者体育大会開催予定です。
(5)	全日本ろうあ連盟手話言語法制定推進運動本部は2020年1月に日本財団の助成を得て新しいパンフレット「手話言語法の制定へ！」を発行しました。

**2 次の文で（ ）にあてはまる最も適切な語句を枠内からA～Nで答えなさい。**

(1)	頸肩腕障害とは、腕、手を繰り返し使うことや、腕や首を一定に保つ姿勢が求められる仕事に就いている人たちに発生する「①」です。
(2)	2000年の社会福祉法改正によって、手話通訳事業が「②」に位置づけられました。
(3)	2021年「③」の国会中継に手話通訳が付きました。
(4)	「④」に関わる聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律案が2020年に可決、成立しました。
(5)	全日本ろうあ連盟は「⑤」を「都道府県及び区市町村の意思疎通支援事業等を活用した通訳場面」のことと見解を公表しました。

A=第1種社会福祉事業  
 C=第2種事業  
 E=手話言語  
 G=職業病  
 I=参議院  
 K=衆議院  
 M=第2種社会福祉事業

B=慢性疾患  
 D=NHK  
 F=遠隔手話サービス  
 H=遠隔手話通訳  
 J=肩  
 L=腕  
 N=電話リレーサービス

3 次の事柄にかかわる語句を下の A～J の中から選びその記号を記入してください。

(1)	パンデミック
(2)	ストラテジー
(3)	インバウンド
(4)	ワンストップ
(5)	ソリューション

A=爆発的に感染患者が増える状況

B=過去のこと

C=感染者が再び増えること

D=世界的に感染が広がること

E=外国人の訪日旅行

F=下から上へ進めること

G=一箇所で用事が足りること

H=情報の取捨選択・活用の能力

I=戦略・策略

J=問題解決

4 次の事柄にかかわる語句を下の A～E の中から選びその記号を記入してください。

(1)	ろう者の学習権を保障する
(2)	手話言語を身に付ける機会を保障する
(3)	手話言語を誰でも気軽に使える社会にする
(4)	手話言語の語彙を増やす、保存する、研究する
(5)	手話言語を教科として学ぶ

A=手話言語で学ぶ

B=手話言語の獲得

C=手話言語を習得する

D=手話言語を使う

E=手話言語を守る

## 受講生選考試験・一次試験 読み取り問題

全文書き取り（1問のみ）

理化学研究所や神戸大などの研究チームは4日、マスクを二重に着用したときの感染防止効果を、スーパーコンピューター「富岳」<sup>ふがく</sup>を使って解析した結果を発表した。

新型コロナウイルスを含む飛沫の拡散は、二重マスクにしても、不織布マスク1枚をきちんと着けた場合とほぼ変わらなかったという。解析結果によると、不織布マスク1枚を鼻の金具を曲げて隙間なく着けた場合、飛沫の85%をキャッチし、拡散を防ぐ効果があった。不織布マスクにウレタン製のマスクを重ねて着用した場合は89%で、大きな差はなかった。二重マスクについては、効果が上がるとする報告を米疾病対策センター（CDC）が発表しているが、坪倉誠・理研チームリーダーは「二重マスクでは息苦しさも増す。不織布マスク1枚を顔に密着させて着けることを勧めたい」と話す。マスクを着用せず、歩行やランニング中に会話すると、後方に飛沫が飛ぶこともわかった。ウイルスを多く含む飛沫は、静止時は1メートル以内に落ちるが、歩行中は2～3メートル後ろにまで届いた。マスクを着ければ飛沫は抑えられた。